

ダウンロードはこちら



生徒と話そう月経のこと

~生徒・養護教諭へのアンケート調査から見えてきたこと~



バイエルは、「Health for all, Hunger for none (すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」をビジョンとして掲げ、ヘルスケアと農業関連事業 を中核とするライフサイエンス企業です。健康と食糧という人々の最も基本的なニーズにイノベーションで応え、SDGs達成に向けた サステナビリティに関連する取り組みにも注力しており、その一環として、若年層への健康教育を支援しています。

2021年12月、文部科学省の事務連絡「児童生徒等の月経随伴症状等の早期発見及び保健指導等の実施について」において、健康 診断時の保健調査票等に月経に伴う諸症状について記入する欄を設け、健康相談や産婦人科等の受診につなぐことの重要性が 示されました。これを受け弊社では、記入欄の導入状況や、導入における課題等を明らかにするためのアンケート調査を全国の 高等学校(405校)を対象に実施しました。本資料では、同調査結果とともに、月経に関連する情報をご紹介しています。ぜひ、 生徒の皆さまの健康維持・増進のためにお役立ていただけましたら幸いです。









月経随伴症状がもたらす学生生活への影響

高校生を対象としたアンケート調査

痛みや吐き気などの
月経にともなうつらい症状を
経験したことがある*1
(女子生徒30,034人)

月経痛や月経不順、無月経、過多月経を 病院で治療できることを あまり知らない、 またはほとんど知らない*2 (男女生徒53,860人)



^{子宮内膜症は} 不妊症の原因になる可能性が あることをあまり知らない、 またはほとん<mark>ど知らな</mark>い *²

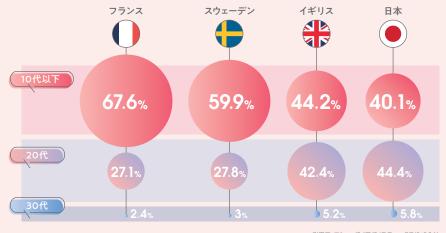
(男女生徒53,860人)



婦人科受診に関するグローバル調査

日本は他国に比べ、婦人科受診率は高くありません。フランス、スウェーデンは受診率が7割以上である一方、日本は約半数にとどまります。*
さらに、婦人科を初めて受診した時期は、日本では20代が最も多いのに対し、フランスやスウェーデンは10代以下がそれぞれ7割弱、6割と突出して多いです。(右図)

(婦人科受診経験者)初めて婦人科を受診したのは何歳のときですか



引用元:ロシュ・ダイアグノスティックス、女性の婦人科受診に関するグローバル意識調査を5か国で実施 (roche-diagnostics.jp):婦人科疾患に関する意識調査のQ2.

月経随伴症状がもたらす課題への対策

思春期の女子の月経異常等を早期に発見し、適切な相談や治療につなげることは、児童生徒等の健やかな成長の観点から重要です。

内閣府男女共同参画局による「女性活躍・男女共同参画の重点 方針2023」では、月経随伴症状等の児童生徒の健康状態把握 のために、児童生徒の健康診断を実施する際の保健調査票の活用 により、所見を有する女子児童生徒に対する健康相談や保健指導 の実施を進めることが明示されています。 健康診断を実施する際の保健調査票の活用については、文部科学省の事務連絡「児童生徒等の月経随伴症状等の早期発見及び保健指導等の実施について」(2021年12月)においても示されており、健康相談や産婦人科等の受診につなぐことの重要性が示されています。

^{*1) 2015}年4月~2022年3月実施かがやきスクール受講後アンケート調査 (回答者数:女子生徒30,034人)

^{*2) 2015}年4月~2022年3月実施かがやきスクール受講前アンケート調査 (回答者数:男女生徒53,860人)

学校健診を機会とした生徒の月経随伴症状の把握とその対策

学校健診時の保健調査票等への月経随伴症状に関する記入欄の設置状況や、生徒の症状への対策について

全国高等学校の養護教諭を対象としたアンケート調査

対象:全国の高等学校405校

時期:2023年5月

方法:全国の高等学校に健康診断を実施する際の保健調査票に 係わるWEBアンケートを実施し集計



58%

生徒の症状に対し、 具体的な対策につなげている学校

62%

保健調査票に月経に伴う 諸症状の記入欄を 設けている学校 ◆ 養護教諭による生徒に対する保健指導の実施 (90%)

養護教諭と保護者間での相談・対応検討(25%)

学校健診後、学校医による健康相談や診療(20%)

学校健診後の生徒の婦人科受診(18%)

(複数回答)

生徒さんが 毎日楽しく学校生活を 送れるよう、月経随伴症状に 対する適切な対策が重要です

保健指導で不安をやわらげ、 必要な場合には婦人科受診を 推奨しましょう 42%

対策につながっていない学校

指導時間などの確保が難しい(56%)

学校から保護者への相談が難しくアクションが取れない(42%)

学校側の関心が低く取り組みに至っていない(40%)

症状・疾患に対する知識がなく対応できない(8%)

(複数回答)

次ページの 月綴デェックシートを使い、

生徒の皆さんに月経症状のチェックを促してみましょう! 生徒さんに配布したり、廊下やトイレに貼ってご活用ください



周綴纾正吻勿》一

毎月、生理の前や生理が始まると調子が悪い…と いうことはありませんか?生理痛などの痛みや不調 はカラダやココロからのSOSかもしれません。

当てはまることがあったら、保健室の先生や婦人科 に相談してみましょう!





9999999999999999999

- 生理痛がひどく、学校を休むなど、日常生活にも支障がある
- 生理のとき鎮痛剤がいつも必要になる
- 市販の鎮痛剤が効かないくらい痛い
- 生理のとき以外にも、下腹部や腰に痛みを感じる
- 生理期間に頭痛や吐き気がある

出血

- 生理の出血量が多いと感じる
- 多い日で、ナプキンの交換が30分おきに必要
- ┐ 出血のとき血のかたまりが出る
- 生理ではないときに出血がある
- ↑貧血の症状がある

周期

- 生理の期間が長い
- 3ヶ月以上牛理がこない

(月経)のめやす

はじめて生理に なる年齢(初経)

10~14歳

生理周期日数

25~38日

生理持続日数

3~7日間

1周期の総経血量 20~140ml

あなたのミカタになってくれる 近くの婦人科をしらべてみよう!



「最寄駅」 「女医さんがいる」 「土・日も診療している」





生理のミカタ

症状検索エンジン (



生理のミカタサイトにあるユビーでは、 症状から関連する参考病名や適切な 相談・受診先を調べられます。

※医学的アドバイス、診断、治療、予防などを目的としたものではありません